

(様式6-3)

研修等 報告書

令和5年2月20日

三田市議会議長 松岡信生 様

私は、研修等報告書を下記のとおり提出します。

会 派 名	盟政会	代表者	福田秀章
		議員名	小杉崇浩
参加者氏名	小杉崇浩		
講演会等研修名	質問・財政基礎研修		
研修事項	1. 急激悪化地方の財政歳入増加策 2. 持続可能な歳出削減策		
日 時	令和5年1月30日(月)～1月31日(火)		
場 所	リファレンス新有楽町ビル		
所 見	研修報告書別紙		
添付資料	・ 当日配布資料 ・ パンフレット ・ 研修報告書別紙 ・ 当日会場写真		

6 添付書類（講演会内容のパンフレット等）

交付対象議員は会派名、議員名を記入してください。（代表者名、参加者氏名は不要）

## 【研修報告書別紙】

講師は、京都市議会議員を5期務めた村山氏で、大正大学の客員教授でもあり、若くして地方行政に精通しており、鋭い観察眼を持った方だと思いました。

受講した講義のうちの一つ目は、「急激悪化！地方の財政歳入増加策」というタイトルで、コロナ禍で悪化した地方財政の課題と解決への方向性を話してくださいました。

### 《以下、講義の要点》

コロナ禍により、歳入の大幅減少、財政調整基金の枯渇、コロナ対策への支出増加の3つの影響を受けており、地方財政はかなり厳しい状況に陥っている。

自治体財政圧迫の主要因は次の4つ。①財政運営に問題があるケース（問題先送り）、②税収基盤が脆弱なケース、③国の問題・臨時財政対策債、④社会保障費の増大。財政建て直しには、歳出削減と同時に歳入増加策を同時に行わないと市民の不満が鬱積する。歳出削減の方が効果は絶大だが、歳入増加策も大事。

コロナ禍でもできる歳入増加策8つ。①ふるさと納税、②企業版ふるさと納税、③ネーミングライツ、④法定外税、⑤セール&リースバック方式、⑥民間企業による逆プロポの活用、⑦貸出資産の再点検、⑧空き公共施設の積極活用。

午後の講義は、「持続可能な歳出削減」というタイトルで、財政破綻した夕張市の例から財政再建の重要性を説明したのち、具体的に取り組める歳出削減策についてお話してくださいました。

### 《以下、講義の要点》

夕張市の例から見る財政破綻した結果生じる4つ事象。①役所が地獄絵図、②負担激増・サービス低下、③市の国家管理、④人口減少問題。

歳出削減策 1つ。①予算編成の見直し、②事業の見直し、③無駄遣いのチェック、④生活保護対策、⑤PFI方式、⑥PFI コンセッション方式、⑦施設借り上げ方式、⑧民間サービスによる代替、⑨施設包括管理、⑩PFS方式、⑪SIB方式、⑫人事制度（給与表）の見直し、⑬スマート自治体（DX）。

財政再建の要諦は、「徹底的にブレずに例外を作らずやりきること」。

### 《所見》

全体を通して、多くの財政再建策を教えてくださいましたが、どれも理にかなっており、どこの自治体でも本気になれば取り組めるものだと感じました。夕張市の財政破綻の例を考える機会を与えていただき、地方議会のチェック機能の大切さを改めて感じました。行政職員もそれぞれの立場においては一杯頑張っておられるが、「木を見て森を見ず」的なところがあり、俯瞰的に、総合的に行政運営を考えていくことが議員には求められると思いました。

歳入増加策では、企業版ふるさと納税にはまだまだ大きな可能性があると感じました。地域の課題を民間企業と一緒に解決を目指していくことを目指していくべきだと思いました。

歳出削減策では、PFS方式やSIB方式はもっと積極的に導入していけるのではないかと感じました。民間企業とのwin-winの関係を築き、最小コストで最大利益を生む仕組みを構築していく重要性を強く感じました。

地方財政は、交付税制度のため、歳入を増やしてもその25%しか実質財政改善にはなりません。歳出削減は100%の効果があります。三田市においても、今後の人口減による歳入減少を考慮すると、この講義で教えていただいた歳出削減策をしっかりと政策に反映させていかなければならないと思います。

**アフターコロナの職員目線  
「急激悪化！地方の財政」  
財政事情と決算審議  
& 歳入増加策**

# アフターコロナの職員目録

## 夕張からの着目

### 持続可能な歳出削減策

1

地方議員研究会 講師 村山祥栄